

駅無人化反対・芸備線廃止反対・新見宣伝行動

地域の足・芸備線を存続させよう

駅窓口の変更はサービスの低下

地本は3月28日、「駅無人化反対・芸備線廃止反対・新見宣伝行動」を行いました。新見市内にて、街宣・チラシ配布行動を行い、最後に新見駅前においてマイク宣伝を行い、橋本新見市市議会議員・「退職者の会」などが参加してくれました。参加人数は30名です。



地本は、11時より、新見市街地・芸備線沿線において、チラシ配布・街宣行動を行い、13時より新見駅前において、「駅無人化反対・芸備線廃止反対」のマイク宣伝行動を開催した。青山地本書記長の司会で、小林地本委員長・橋本新見市市議会議員が新見市民・通行者・JR利用者に対して、「新見駅の窓口閉鎖反対」「芸備線を守ろう」とマイク宣伝を行った。

小林地本委員長
駅の窓口閉鎖
新見駅の「みどりの窓口」



を閉鎖して、切符の販売はすべて機械化にしました。使い勝手の悪さや待ち時間の長さから不満が続出しています。私たちは、こうした駅体制の変更に対して、「サービスの低下や安全」を軽視するものであるとして、反対の声を上げています。特に困るのは交通弱者です。そして、身体障害者や高齢者などにとっては移動の自由が大きく制約されます。そして、安全性の低下します。駅の無人化に反対しましょう。

芸備線問題

芸備線「再構築協議会」が3月26日に開催され、会社は、「大量輸送の特性を發揮できていない。より便利で持続可能性の高い交通体系の実現に向けた議論をしたい」とバス転換等をはじめとしたことに対して、沿線自治体は、「芸備線は、大切な移動手段であり、内部補助で路線を維持出来ないのなら理由を説明してほしい」など存続に向け切実な思いを強く訴えた。会社の内部補助崩壊論は、まやかしいであると言わざるを得ません。国鉄から引き継いだJRは、公共交通を守るという社会的責務があります。国は、ローカル線の維持と利便性を図るために積極的役割を果たすこと

が求められている。
橋本新見市議会議員



伯備・姫新・芸備の三線が行き交う中で、新見市は発展した町です。芸備線を今後も残していきたい。

市議会では、芸備線を存続させようと一致団結して取り組んでいるが、JRが私たちの思いを捻りつぶし

ている。そして、新見駅の窓口閉鎖で利便性が悪くなっている。市長は利便性が後退しないように要請するとしている。市民の皆さんと力を合わせ、芸備線の存続・新見駅の利便性向上に向け、頑張っていく。

私たちは、今後も「駅の窓口閉鎖。ローカル線を切り捨てるな・芸備線などローカル線を守ろう。」そうした声を引き続き、粘り強く声を上げていくことを確認して、マイク宣伝を終了した。

第95回メーデー

岡山県中央メーデー

日時 2024年5月1日(水) 10時
場所 岡山市・石山公園

福山地区統一メーデー

日時 2024年5月1日(水) 18時20分
場所 福山城北公園

団結グランドゴルフ大会

日時 2024年5月11日(土)
10時30分集合
場所 清音ふるさとふれあい公園